

# AMDA・NRSP・CCRCパキスタン家庭健康教育プログラム三者調印式

6月26日茅ヶ崎ラスカ・ラスカサロンにおいてポリオ撲滅のためにパキスタン視察事業を受けて、始まったAMDA・NRSPとの協働事業である「パキスタン家庭健康教育プログラム」の調印式が行われました。

当日は、アーミルパキスタン大使閣下・河野太郎代議士・服部茅ヶ崎市長をはじめ多くのご来賓をお迎えし、また、国際ロータリー2780地区からは加藤ガバナー補佐を始め多くのロータリアン、また、報道関係の方々にも取材にお出でいただきました。

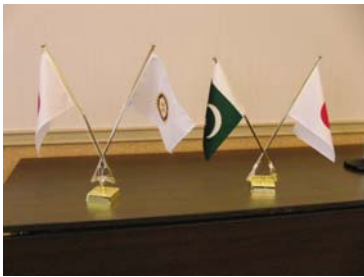


アーミルパキスタン大使閣下の祝辞に続き、NRSPバジワワ総裁からも今事業へお礼がビデオレターで届けられました。そして調印式には、AMDAグループ菅波茂代表、NRSPアガ・アリ・ジュバドゼネラルマネージャー、茅ヶ崎中央RCからは出山和夫会長が、英文・和文それぞれの調印書に署名をし、パキスタン家庭健康教育プログラムが、実施される運びになりました。

第二部では、まずは、国連人口基金佐崎淳子事務所長が「途上国における女性教育の重要性」について、NRSPアガ・アリ・ジュバドゼネラルマネージャーからは、「パキスタンにおけるポリオの現状」についての基調講演が行われました。それを受けてのパネルディスカッションは、AMDA菅波グループ代表をコーディネータに、河野代議士・出山会長・堀川実行委員長をパネリストとして、基調講演をおこなっていただいたお二人に加えて、クラブからパキスタンに視察に行った前川会員をコメンテーターとして加わっていただき、実施されました。



なぜ、パキスタンに視察に行ったのか、そこではどんなことがポリオ撲滅に必要なのか、そのために我々茅ヶ崎中央RCに何ができるか、なぜ、AMDA・NRSPとの連携が有効なのか、これが効果を発揮されたらどう変わるのか、といった議論がされ、会場からは、服部茅ヶ崎市長も大変興味ある活動で、ぜひ、力になっていきたいとエールを送っていただきました。



この事業は、7月から半年間の準備期間において、三年間にパキスタンタッタ県で1400人以上の未婚女性に家庭健康教育をNRSPが実施し、その費用となる年間百万円を、茅ヶ崎中央RCが拠出し、プログラム運用状態をAMDAが管理サポートしていくというプログラムです。

## J-COMの取材を受ける出山会長



三者の署名のされた協定書

